

こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.25



「ありがとう」の心を

近所の軒下に巣を作っているツバメが、間もなくひなをかえします。動物達の子育てのシーズンです。小さな命を懸命に守り育てる姿は、とても感動的です。それにつけても人間世界では、命を育む子育てとはおよそかけ離れた事件・事故が相次いでいます。高校生・親殺し、若い女性の赤ちゃん捨て、今や人間の子育ては、動物の子育てを参考にした方がいいのではないかと思ってしまう。私には4人の子どもがいます。一番下の子どもが中学3年生になり、少しは外に目を向けられるようになりました。新聞やテレビを見ますと、現在、いじめや不登校、引きこもり、非行など様々な問題が深刻なものとなつています。子どもを持つ親として、とても心配です。次世代を担う子ども達も、成長に応じて社会に適応できるような家庭・学校・地域社会が連携して、青少年を支援することが大切だと思つておきます。

ところで、私が一番気になることは「感謝」ということです。子ども達は、自分の欲しい物が手に



入った時、その「物」には感謝するが、それを与えてくれた「人」には感謝しているだろうか? 「ありがとう」という言葉があまり聞かれなくなったように思います。我が家では、食事の時間を通して、命の大切さや、周りの人への「ありがとう」という感謝の気持ちを育ててきました。今年の「母の日」に大阪にいる息子からカーネーションと、「お母さん、いつもありがとう」と書いてあるメッセージ

ジカードが届きました。一言だけの短いものでしたが、その「ありがとう」が、とてもうれしく心に染みましました。家族の触れ合いのあたたかさ、息子の笑顔を感じ出して、私は幸せを実感しました。

「ありがとう」の一言で、周りが明るくなります。小さい時から、折にふれて「ありがとう」の言葉を惜しまないで、言葉かけをするその大切さを教えることが大切だと思つていきます。

最後に、坂村真民さんの詩を紹介いたします。

せいーばい
 小さな小さい花でも
 せいーばい
 咲いているのだ
 だからかすかな自分でも
 せいーばい
 生きてゆこう

吉田昇子(安岐町)

ハンセン病を正しく
 理解する週間
 6月22日(日)～28日(土)

隣保館インフォメーション

人権をより身近に感じてもらうために、毎月「人権ビデオ上映会」を実施しています。

ビデオ視聴とともに参加体験型学習(ワークショップ)を取り入れた学びは、楽しく和やかなものとなります。

なお、参加は無料で、どなたでも参加できます。

月日	時間	月日	時間
6月19日(木)	午前10時～正午	11月19日(水)	午後2時～4時
7月22日(火)	午後2時～4時	12月19日(金)	午後2時～4時
8月8日(金)*	午前10時～正午	1月19日(月)	午前10時～正午
8月21日(木)*	午後2時～4時	2月19日(木)	午後2時～4時
9月19日(金)	午前10時～正午	3月17日(火)	午前10時～正午
10月23日(木)	午前10時～正午	*8月は、子ども対象のビデオ上映予定。	

問い合わせ 国東市隣保館 ☎ 0978-68-1722